

事業者名及び事業所名	当矢印刷株式会社 埼玉北工場					
事業所所在地	川越市芳野台2丁目8番地8					
産業分類名	印刷・同関連業					
事業活動の概要	事業内容	紙に対する印刷物の製造・加工				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対して、削減計画期間の平均削減率15%以上とする。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,532	1,530				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	4,726	4,726	4,726	4,726	4,726	23,630
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	3,013	3,008				6,021
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・機械冷却水をガス式の吸収式冷凍機からフリークーリングと空冷チラーを組み合わせた方式に変更。 ・燃料をLPGから都市ガスに変更。LPG施設撤去。 ・Hf蛍光灯からLED照明に更新 ・キュービクル更新に伴い変圧器3台をトッランナー変圧器に更新 ・デマンドコントローラーによる電力のピークカット ・水銀灯をLED照明へ切替 ・工場棟屋根へ遮熱塗料による塗り替え実施 						

事業者名及び事業所	アマゾンジャパン合同会社 川越フルフィルメントセンター					
事業所所在地	川越市南台1-10-15					
産業分類名	倉庫業					
事業活動の概要	事業内容	総合オンラインストア倉庫 設立：2000年7月				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し目標削減率を、R2～R5年度は8%以上、R6年度は15%以上とする。削減目標未達の場合は排出量取引制度を活用して達成する。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,914	1,897				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	4,357	4,357	4,357	4,357	4,357	21,785
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	3,762	3,729				7,491
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・週間、月間、年間での使用量チェックを行い使用量が増加していないか確認し異常値がある拠点の使用状況を改善 ・週間、月間、年間での使用量記録を行い過去と使用量を比較し省エネ施策の効果検証と水平展開 ・Energy管理チームを発足し全施設への省エネ啓蒙活動及び省エネ施策の水平展開 ・使用していないエリアの空調停止、不要な運転停止、使用時間外の運転停止などの徹底 ・各FCのオーナー資産分の蛍光灯をLED化する ・会社全体でSustainability Teamが発足され、こまめな消灯、エアコン停止などの啓蒙活動を開始 ・着車ドックへビニルによる仕切り壁を設置し空調効率を上げる ・削減目標未達の場合は排出量取引制度を活用して達成する 						

事業者名及び事業所名	エースコック株式会社 東京工場					
事業所所在地	川越市大字今福461番地1					
産業分類名	食料品製造業					
事業活動の概要	事業内容	事業内容 即席麺・スープ等の製造及び販売 従業員 198人				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し削減計画期間の平均削減率を20%とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,899	2,844				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	6,241	6,241	6,241	6,241	6,241	31,205
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	5,640	5,529				11,169
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて排出量取引を行う ・熱交換器の入れ替え ・ボイラー更新(炉筒煙管2台計16tから貫流ボイラー6台計30tに入替え) ・高効率空調機の入替 ・22kWコンプレッサー2台を撤去し37kWインバーターコンプレッサーを導入 ・空調機の増設及び入れ替え ・電力会社を九電みらいエナジーに変更 ・蒸気駆動コンプレッサ導入 ・工場内LED化(281台) ・熱交換器の入れ替え 						

事業者名及び事業所名	奥村印刷株式会社 川越工場					
事業所所在地	川越市芳野台二丁目8番66					
産業分類名	印刷・同関連業					
事業活動の概要	事業内容	事業内容：商業印刷物・出版印刷物の製造、情報ソフト・サービスの提供。 設立：昭和22年8月22日。 本社：東京都北区栄町1番1号。電話番号03-5390-6211（代）。 資本金：1億円。従業員：200名。				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を15%以上とする。（必要に応じて排出量取引を活用する）				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,590	1,599				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	3,454	3,454	3,454	3,454	3,454	17,270
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	3,282	3,299				6,581
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・冷却水を輪転機に送るポンプのモータのインバータ化 ・冷却水を輪転機に送るポンプのモーターを更新、オーバーホールした ・空調機の高効率タイプへの変更 ・コンプレッサーの高効率タイプへの変更 ・必要に応じて排出量取引を活用する ・CTP設備の更新による使用電力量の削減 ・工場内コンプレッサーの統廃合による使用電力量の削減 ・輪転印刷機の更新（省エネタイプ1台購入、従来機2台廃機）による使用電力量の削減 ・照明のLED化 ・デマンド管理の徹底：契約電力量超過時消灯・昇降機停止・印刷機回転減 ・印刷機・製本機周りの電灯の間引き ・照明・空調・印刷機・コンプレッサー等設備毎の電使用量の把握、集計表作成とグラフ化 ・照明・空調・印刷機・コンプレッサー等設備毎の電力計測器設置 ・受電設備の更新 						

事業者名及び事業所	オリエンタルエンジニアリング株式会社 川越工場					
事業所所在地	川越市芳野台二丁目8番地49					
産業分類名	金属製品製造業					
事業活動の概要	事業内容	金属熱処理加工、熱処理設備製造 従業員数 133人				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を15%以上とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,988	2,085				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	5,223	5,223	5,223	5,223	5,223	26,115
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	3,946	4,140				8,086
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> 工場照明をLED照明の更新 冷却塔、循環ポンプを高効率タイプへ更新 チラー運転方法見直しによる電力削減 変圧器の更新による高効率化 空調設備を省エネタイプへ更新 インバータ式コンプレッサの導入 設備稼働率の向上(充填率向上、時間短縮等) エネルギー使用量を把握し月報を作成しエネルギー管理委員会会議で報告 定期点検によるエネルギーロスの管理 エネルギー管理委員会会議(1回/月)を開催 コンプレッサ更新 熱処理設備稼働台数に応じ洗浄機の適切な稼働台数、稼働時間等を定め省エネ化を図る 						

事業者名及び事業所名	川越都市開発株式会社 アトレ					
事業所所在地	川越市脇田町105番地					
産業分類名	各種商品小売業					
事業活動の概要	事業内容	商業ビル「アトレ」 従業員数 1500名				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量(10,185 t - Co ₂)に対し、削減計画期間の削減率を毎年22%とする。 (必要に応じて排出取引を活用する)				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,610	2,649				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	10,185	10,185	10,185	10,185	10,185	50,925
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	5,081	5,156				10,237
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・冷却水ポンプの整備を行い運転効率の向上 ・空調用冷却塔No.3を省電力型へ更新 ・冷温水ポンプ(7台)を省電量型へ更新 ・店舗部分の既存蛍光灯を一部分LED等の省エネタイプへ更新 ・AHU(エアハンドリングユニット)AC-6系統、AC-12系統を省電力型に更新工事 ・従業員用B階段照明21台を蛍光灯型からLED型へ更新工事 ・冷温水ポンプ(3台)を省電量型へ更新 ・汚水ポンプ2台を省電力型へ更新 ・冷温水発生器の運転監視 ・店舗部分の各空調機器の設定温度の見直し ・食品用冷凍機設備の省エネ、新冷媒対応機器への入替を一部実施 ・冷却塔の冷却水入口、出口温度差を外気温等を監視し微調整を行う ・外周軒下照明の点消灯時間見直し ・7階休憩室の蛍光灯器具20台消灯 						

事業者名及び事業所名	関東ヘキサケミカル株式会社					
事業所所在地	芳野台1丁目103番地6					
産業分類名	化学工業					
事業活動の概要	事業内容	合成樹脂用着色剤及び ^o プラスチック ^o コンパ ^o ウ ^o ド ^o の製造				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	令和3年度を基準として、CO ₂ 排出量を毎年1%ずつ改善していきます。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)		1,504				
基準排出量(t-CO ₂ /年)						0
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)		3,000				3,000
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のエネルギー使用量を把握し、原単位を作成 ・各生産設備動力源の保守点検整備 ・空調機設定温度、夏期28℃、冬期20℃に設定 ・押出機への断熱材設置 ・現場照明設備HIDランプ50本をLEDに変更 						

事業者名及び事業所名	学校法人埼玉医科大学 総合医療センター					
事業所所在地	川越市大字鴨田1981番地					
産業分類名	学校教育					
事業活動の概要	事業内容	事業内容 : 学校・医療 病床数 : 1,053床 (別途仮設10床) 教職員数 : 2,366人 (常勤)				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、令和2年度～令和6年度の5年平均で22%以上削減を目指します。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	7,123	6,993				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	16,821	16,821	16,821	16,821	16,821	84,105
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	13,944	13,690				27,634
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 吸収式冷凍機更新 ・ 高効率照明器具及びLED照明器具の導入 ・ 電気室の改修に伴う変圧器の更新 ・ 温水ポンプのインバータ化 ・ ゼロエネルギーバンド制御の導入 ・ 蒸気バルブへの断熱ジャケット取付 ・ 冷凍機械室吸排気ファン間欠運転 						

事業者名及び事業所名	サノフィ株式会社 川越事業所					
事業所所在地	川越市南台一丁目3番地2					
産業分類名	化学工業					
事業活動の概要	事業内容	医薬品の製造 主な製品：デュピクセント、イロケイト、アクトビオ、フラビックス 従業員数：257名 敷地面積：56,189 m ²				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	【第三計画期間】 省エネルギー対策計画の推進により、令和2年度から令和6年度末までの排出量を基準排出量（8,708t-CO ₂ ）に対し、年平均20%以上削減する。				
	その他ガス	該当なし				
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	3,604	3,146				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	8,708	8,708	8,708	8,708	8,708	43,540
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	6,846	5,186				12,032
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品工場(3) AC-20に外調機方式を導入 ・ 医薬品工場(1) AC-1、2、17の統合 ・ 医薬品工場(5)の休止 ・ 低炭素電力の購入（アクアプレミアム） ・ 低炭素電力の購入（グリーンベーシックプラン） ・ 事務棟(1)、医工場(3)、施設棟の照明のLED化 						

事業者名及び事業所	西武鉄道株式会社 西武本川越ステーションビル					
事業所所在地	川越市新富町一丁目22番地					
産業分類名	各種商品小売業					
事業活動の概要	事業内容	雑貨、カフェ、食品等の小売業（本川越PePe）、 宿泊業（川越プリンスホテル）の複合ビル				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	第3計画期間の基準排出量に対し、削減計画期間中年平均で22%以上を削減します。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,620	2,704				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	8,453	8,453	8,453	8,453	8,453	42,265
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	5,112	5,273				10,385
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ペペ エスカレーター改修 ・エコマイザーの設置（蒸気ボイラー更新の計画見直し） ・ホテルフロント周り照明器具の更新 ・ホテル エレベーター更新 ・ホテル レストラン照明設備LED更新 						

事業者名及び事業所名	合同会社西友 川越流通センター					
事業所所在地	川越市宮元町23番地					
産業分類名	各種商品小売業					
事業活動の概要	事業内容	(事業内容) 食料品、衣料品、住居用品などの小売チェーンの運営 (従業員数) 約230人				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	第1計画期間：基準排出量合計18,620 t-co ₂ に対し排出量実績は17,817 t-co ₂ の実績で目標削減量1,490t-co ₂ に対し687t-co ₂ の不足でした。 第2計画期間：基準排出量合計28,525 t-co ₂ に対し排出量実績は24,833 t-co ₂ の実績で目標削減量4,279t-co ₂ に対し587t-co ₂ の不足でした。 第3計画期間は稼働率の増加が見込まれますが、引続き継続的な省エネに努め基準排出量合計28,525t-co ₂ に対し目標22%の削減を目指します。尚、達成できない場合は、必要に応じて排出量取引制度を活用します。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,532	2,101				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	5,705	5,705	5,705	5,705	5,705	28,525
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	4,982	4,131				9,113
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での地球温暖化対策推進体制を定め、その組織が機能している。 ・冷凍冷蔵設備について、計測・保守・点検を継続して実施する。 ・空調の適正な設定温度及び湿度を継続的に管理する。 ・空調運転時間を、使用実態に合わせて継続的に管理する。 ・冷凍冷蔵設備は定期的に点検及び、メンテナンスの強化を継続して行う。 ・不要な場所の消灯をし照度基準に合った適正照度の維持を継続して行う。 ・自らの削減での目標達成が困難だったときは排出量取引(社内取引で)を活用する。 						

事業者名及び事業所名	合同会社西友 埼玉工場					
事業所所在地	川越市大字下赤坂 1795-1					
産業分類名	食料品製造業					
事業活動の概要	事業内容	惣菜製造業、従業員565人				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	株式会社若菜は2018年1月1日に合同会社西友と法人統合しました。第2計画期間：基準排出量合計29,060 t-co ₂ に対し排出量実績は27,324 t-co ₂ の実績で目標削減量3,778t-co ₂ に対し2,042t-co ₂ の不足でした。第3計画期間は稼働率の増加が見込まれますが、引続き継続的な省エネに努め基準排出量合計29,060t-co ₂ に対し目標20%の削減を目指します。尚、達成できない場合は、必要に応じて排出量取引制度を活用します。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,857	2,841				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	5,812	5,812	5,812	5,812	5,812	29,060
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	5,565	5,529				11,094
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> 各部屋の空調室内機及び冷蔵冷凍庫のユニットクーラーの薬品洗浄を実施。 ガスコージェネレーション導入。平成29年3月より運用中。 照明器具のLED化。平成30年3月実施予定。 自らの削減での目標達成が困難だったときは排出量取引(社内取引で)を活用する。 						

事業者名及び事業所	ダイハツ株式会社 川越事業所					
事業所所在地	川越市南台一丁目3番地3					
産業分類名	14 パルプ・紙・紙加工品製造業					
事業活動の概要	事業内容	主な製品：段ボール製品全般 従業員数：110人				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。（必要に応じて排出量取引を活用する。）				
	その他ガス					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,430	1,572				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	6,934	6,934	6,934	6,934	6,934	34,670
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	2,810	3,088				5,898
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー及び乾燥炉の燃料をA重油から天然ガスへ切替し、CO₂排出量を削減 ・LPG使用リフトの電動化（電気リフト化）段階的 ・照明、PC電力等エネルギーの無駄な使用の排除を全社員に徹底し、CO₂排出量を削減 ・機械生産性（段ボール製造機械の生産性：コルゲートマシン、製函機）の向上により、エネルギー使用量を削減し、CO₂排出量を削減 ・インバーター制御コンプレッサーの導入 ・パルプモールド設備（1、2号機）及びオフセット印刷機の生産設備撤去に伴う、CO₂排出量の削減 ・合紙機、プレス機、艶出し機の生産設備撤去に伴う、CO₂排出量の削減 ・常夜灯のLED化 ・第一、第二工場照明のLED化 ・ボイラーにドレン回収装置を設置し、1度使用した蒸気を回収、再利用する事で都市ガスの使用量及び原単位を改善 ・パルプモールド設備（3号機）の生産設備撤去に伴う、CO₂排出量の削減 ・印刷機（MU）、グルアー機の生産設備撤去に伴う、CO₂排出量の削減 ・製函機更新（SM機⇒EV機）に伴う生産性向上（2018年2月～） ・打抜き機の生産設備撤去に伴う、CO₂排出量の削減 						

事業者名及び事業所名	東亜道路工業株式会社 埼玉アスコン					
事業所所在地	川越市大字下赤坂1817					
産業分類名	総合工事業					
事業活動の概要	事業内容	アスファルト合材の製造・販売 従業員数：8名				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	【埼玉アスコン】 R1年度の排出量を基準として、エネルギー起源CO ₂ をR6年度までに、1%削減を目標とする。 R1年度2,991t-CO ₂ ⇒R6年度2,961t-CO ₂				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,532	1,609				
基準排出量(t-CO ₂ /年)						0
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	2,977	3,144				6,121
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・排風機のモーターの入替え（老朽化に伴い） ・再生プラントの排風機のインバーター入替え ・昼光の利用、不要時の消灯、照明器具の清掃、老朽ランプの交換（第3計画期間も継続） ・電圧、電流、力率、電力の監視（第3計画期間も継続） ・材料受入・保管の管理（第3計画期間も継続） ・バーナーの燃焼状況と排煙の監視及び排ガス温度の監視（第3計画期間も継続） ・クールビズの励行、適正温度管理、電気消灯等（第3計画期間も継続） 						

事業者名及び事業所名	東洋インキ株式会社 埼玉製造所					
事業所所在地	川越市大字栄1番地					
産業分類名	化学工業					
事業活動の概要	事業内容	主な製品（オフセットインキ、グラビアインキ）の製造				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	【第3計画期間】基準排出量に対して削減計画期間の平均削減率を20%とする。（必要に応じて排出量取引を活用する）				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	8,666	8,964				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	22,898	22,898	22,898	22,898	22,898	114,490
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	16,938	17,507				34,445
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気ボイラー入れ替えによる効率化 ・スポット空調機の省エネ機種への更新 ・高効率ボイラーへの切り替えによる効率化 ・高効率冷凍機への切り替えによる効率化 ・高効率空調機への切り替えによる効率化 ・蒸気漏れによるエネルギー損失の改善 ・既存照明（水銀灯）のLED化 ・再生可能エネルギー導入によるCO₂排出量の削減 						

事業者名及び事業所	東洋エアゾール工業株式会社 川越工場					
事業所所在地	川越市南台一丁目2番地					
産業分類名	化学工業					
事業活動の概要	事業内容	事業内容：化粧品、医薬部外品、家庭用品、工業用品の製造受託充填 従業員数：260人（パート・アルバイト含む）				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,177	1,992				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	5,142	5,142	5,142	5,142	5,142	25,710
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	4,264	3,903				8,167
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・高効率ボイラーへ4台更新 ・省エネタイプ空調機へ12台更新 ・蒸気配管非効率箇所の見直し ・LED照明器具へ多数更新 ・高効率チラーユニットへ1台更新 ・ポンプ設備インバーター化 ・インバーター式コンプレッサへ2台更新 ・高効率変圧器へ4台更新 ・エネルギーの毎月の使用量を把握し月報を作成 						

事業者名及び事業所	株式会社東洋クオリティワン 川越工場					
事業所所在地	川越市大字下小坂328番地2					
産業分類名	プラスチック製品製造業					
事業活動の概要	事業内容	軟質ポリウレタンフォーム等の製造・販売				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,745	2,751				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	7,851	7,851	7,851	7,851	7,851	39,255
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	5,601	5,581				11,182
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサーの集約化、更新 ・事務棟エアコンEHPからGHPに更新 ・研究棟エアコンEHPからGHPに更新 ・集中ボイラーをライン毎の最適ボイラーへ変更 ・省エネパトロールの実施 ・ボイラー更新 						

事業者名及び事業所名	学校法人東洋大学 川越校舎					
事業所所在地	川越市大字鯨井2100					
産業分類名	学校教育					
事業活動の概要	事業内容	大学、大学院、研究センター				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を22%以上とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,622	1,789				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	5,448	5,448	5,448	5,448	5,448	27,240
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	3,211	3,529				6,740
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・空調機更新(4号館3箇所、3・4階、機電棟・厚生棟空調機更新、福利厚生棟、1号館教室、2号館教室、図書館棟) ・省エネ対策工事(LED化)(実験棟(応化情報総情側・都市環境1・2階)、都市環境・建築実験棟、テニスコート、図書館・メディアセンター、川越運動施設) ・図書館トップライト遮光フィルム ・校舎暖房蒸気ボイラーの廃止 ・節電の徹底(電気使用制限) ・応化情報棟エレベーター更新による省エネ効果 						

事業者名及び事業所	トーヨーケム株式会社 川越製造所					
事業所所在地	川越市大字中福286番地					
産業分類名	化学工業					
事業活動の概要	事業内容	事業内容：塗料、粘接着剤、合成樹脂、塗工材料及び着色剤に関わる製品の製造				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。				
	その他ガス	R03排出量（5,679t-co ₂ ）に対し、削減計画期間で平均削減率を1%以上とする。				
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	8,188	8,106				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	24,553	24,553	24,553	24,553	24,553	122,765
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	16,427	21,745				38,172
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・照明機器の水銀灯からLEDランプへの変換 ・高効率空調機への更新 ・空調機の省エネ運転 ・蒸気配管・バルブ類の保温材補修、ドラム加温槽からの蒸発防止策実施 ・プロセス冷却水用熱源更新及び群指令による自動制御化 ・照明機器の水銀灯からLEDランプへの変換 ・街灯照明のLED化 ・クリーンルームの空調設備の運転条件見直し ・熱媒ボイラー A重油から都市ガスへの燃料転換。 ・コージェネレーションシステム排熱利用（蒸気、温水、冷水発生）による重油削減。 ・エネマネの自製化 						

事業者名及び事業所名	パイオニア株式会社 川越事業所					
事業所所在地	川越市大字山田25番地1					
産業分類名	電気機械器具製造業					
事業活動の概要	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カーナビ、カーナビゲーションの開発/設計/生産 ・従業員数：2,178名（令和3年3月末） 				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量5,140 t-CO ₂ に対し削減計画期間の平均削減率20%を目指します。				
	その他ガス					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,855	1,812				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	5,140	5,140	5,140	5,140	5,140	25,700
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	3,645	3,559				7,204
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明器具の導入 ・空調デマンド制御 ・ビル用マルチ空調の更新 						

事業者名及び事業所名	はつかり麵株式会社					
事業所所在地	南大塚2-4-20					
産業分類名	食料品製造業					
事業活動の概要	事業内容	めん類製造及び販売 従業員数：100名				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間（令和5年まで）の平均削減率を6%以上とする。令和6年は13%以上とする。 また、必要に応じて排出量取引を活用する				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,497	2,215				
基準排出量(t-CO ₂ /年)						0
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	4,854	4,303				9,157
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・高効率ボイラの導入 ・蒸気ドレンの有効活用 ・ボイラーの台数制御 ・冷水チラーの修繕 						

事業者名及び事業所名	株式会社ビー・エム・エル 総合研究所					
事業所所在地	川越市的場1361番地1号					
産業分類名	医療業					
事業活動の概要	事業内容	臨床検査の受託業務 約600名				
削減目標	削減計画期間	27	年度から	31	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を22%以上とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス	平成22年度排出量4,504 t-CO ₂ に対して、毎年4% (180 t-CO ₂)を削減する。				
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	6,206	6,198				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	12,747	12,747	12,747	12,747	12,747	63,735
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	15,933	16,391				32,324
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて排出量取引の活用 ・排風機の更新 ・高効率のスクリー冷却機の更新 ・ターボ冷凍機・スクリー冷却機のタイマー管理 ・蛍光灯のLED化 ・高圧受電設備コンデンサの更新 ・外調機の春秋の活用及び風量の調整。(第3計画期間継続中) ・電気の使用量前年比5%削減に向けた取り組みの徹底(空調設定温度の調整、照明点灯時間の管理と間引き)(第3計画期間継続中) 						

事業者名及び事業所名	ヒノデメタル株式会社					
事業所所在地	川越市大字下赤坂606番地					
産業分類名	鉄鋼業					
事業活動の概要	事業内容	事業内容：自動車部品、機械部品の鋳造				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	削減計画期間の平均削減率を、基準排出量に対し15%以上とします。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,663	2,200				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	14,078	14,078	14,078	14,078	14,078	70,390
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	3,241	4,281				7,522
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> 工場全体の設備のメンテナンスを実施 高効率照明(LED)に変更 焼鈍炉の更新 ボイラーの更新 工業炉の更新(キューポラ→電気炉) 工場全体のコンプレッサーの更新 ドラムクーラー(鋳物砂を落とす装置)の更新 						

事業者名及び事業所名	株式会社ファインシンター 川越工場					
事業所所在地	川越市南台一丁目10番地3					
産業分類名	金属製品製造業					
事業活動の概要	事業内容	・自動車用部品:エンジン部品、ショックアブソーバー部品、トランスミッション部品、ステアリング部品、ブレーキ部品、焼結ペント				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,592	2,718				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	12,226	12,226	12,226	12,226	12,226	61,130
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	5,184	5,432				10,616
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサー運用改善による使用電力低減 ・焼結炉の生産量に合わせた効率稼働 ・第二変電室、第五変電室負荷入れ替えによる効率化 ・水道ポンプ更新 ・蛍光灯のLED化 ・熱処理設備の集約による稼働停止、廃却(1台) ・熱処理炉の生産量に合わせた効率稼働 ・ソーラー発電 ・5.5kwエアコンプレッサー寄せ止め 						

事業者名及び事業所	富士フィルム和光純薬株式会社 東京工場					
事業所所在地	川越市大字的場1633番地					
産業分類名	化学工業					
事業活動の概要	事業内容	(1)事業内容：試薬・化製品の製造及び販売 (2)従業員：311名（2022年3月） 富士フィルム和光純薬：266名 富士フィルムワコーロジスティックス：45名				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	第3計画期間内において、基準排出年CO ₂ 排出量の20%削減を目標とします				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,740	2,871				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	8,585	8,585	8,585	8,585	8,585	42,925
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	5,806	6,129				11,935
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー更新による燃料転換及び効率アップによるエネルギー使用量削減 ・構内、物流倉庫内照明器具LED化 ・配電設備変圧器の更新（トップランナーモデルの採用） ・物流倉庫内自動クレーンの駆動モーターインバータ方式への変更 						

事業者名及び事業所	武州製薬株式会社 川越工場					
事業所所在地	川越市大字竹野1番地					
産業分類名	化学工業					
事業活動の概要	事業内容	医薬品及び治験薬の受託製造				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	5,892	5,806				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	85,500
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	11,539	11,370				22,909
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・発電機設備更新 コージェネレーションシステムの導入 ・節電ユニットの設置 (高圧トランス3系統に設置) ・冷水システム最適化 吸収式冷凍機からターボ冷凍機への更新・最適運用 ・照明のLED化 (H23:倉庫棟荷捌場、管理棟一部、H29:第1製剤棟、H30:廊下棟・包装棟、H31:包装棟、H32:包装棟) ・空調機の更新 (AHU-P3、管理棟) ・蒸気ドレン回収 (第2製剤棟) ・太陽光発電の導入 ・コンプレッサー更新 (AP-S-01、AP-S-02) (H26以前:AP-S-01更新完了、H28:AP-S-02更新完了) ・空調制御方式の変更 (INV化他) 対象:H26以前:AHU-V1~V3・H1・L2・PG1/2、H30:AHU-L2・P1/3・P9、H31:AHU-P-06 ・蒸気の断熱ジャケット導入 (H26・H30、H31) ・ボイラーのエネルギー置換 (A重油→都市ガス13A) による高効率ボイラーの採用 ・吸収式冷凍機の燃料転換 (A重油→都市ガス13A) のためバーナー交換実施 ・第1・2電気室の高圧変圧器を高効率変圧器に更新 (H27:第1電気室更新完了、H28:第2電気室更新完了) ・蒸気ドレン再利用率改善 (ドレンフロー量の削減) 						

事業者名及び事業所	本田金属技術株式会社 本社・川越工場					
事業所所在地	川越市大字的場1620番地					
産業分類名	輸送用機械器具製造業					
事業活動の概要	事業内容	アルミを原材料として、自動車のエンジン部品であるシリンダーヘッド、ピストン等の鋳物、加工を行っている。				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	【第3計画期間】 基準排出量(23,188ton-CO ₂)に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	7,677	8,086				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	23,188	23,188	23,188	23,188	23,188	115,940
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	15,062	15,864				30,926
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理委員会 環境推進者会議(1回/月)の開催 ・エネルギー消費量を月度毎に管理し、年度毎で評価 ・厚生棟照明LED化 ・空調機更新 ・油圧ユニットインバーター化 ・L4熱処理炉エア使用量削減 ・生産効率改善によるエネルギー削減 ・ピストン溶解炉更新(省エネ仕様) ・生産効率改善によるエネルギー削減 ・L4搬送砂除去エアレス化 ・中子搬送エアブロー時間短縮 ・夜間空調停止 ・コンプレッサー更新 ・#3鑄造保持炉更新 ・L4熱処理炉更新(省エネ仕様) 						

事業者名及び事業所名	株式会社マーレフィルターシステムズ 埼玉工場					
事業所所在地	川越市大字下赤坂591番地					
産業分類名	輸送用機械器具製造業					
事業活動の概要	事業内容	事業内容 輸送用機器製造業(主にフィルタ、潤滑製品、熱交換機器) 資本金 37億5千万円 従業員 656人 (埼玉地区: 373人)				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	・第1計画期間平成16年から平成18年の3年間平均値(5539 t-CO ₂)から土地売却によるCO ₂ 減少量(811 t-CO ₂)を差し引いた4,728 t-CO ₂ 後、6%削減後、第2計画期間は、基準排出量(6,018t-CO ₂)に対し、削減計画期間の削減率を13%の削減目標を掲げ活動達成する。第3計画期間は、基準排出量(6,018t-CO ₂)に対し、削減計画期間の削減率を20%の削減の設定にて取り組む。				
	その他ガス					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,354	1,797				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	6,018	6,018	6,018	6,018	6,018	30,090
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	2,635	3,543				6,178
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・生産設備、インフラ定期整備継続及びコンプレッサーインバーター交換 ・駐車場外灯の水銀灯のLED化変更 						

事業者名及び事業所名	株式会社丸広百貨店 川越店					
事業所所在地	川越市新富町二丁目6番地1					
産業分類名	各種商品小売業					
事業活動の概要	事業内容	百貨店業 社員数：640名				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	【第3計画期間】基準排出量（8,464 t-CO ₂ ）に対し削減計画期間の平均削減率22%以上を目標とする				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,394	2,508				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	8,464	8,464	8,464	8,464	8,464	42,320
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	4,712	4,938				9,650
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン更新 ・客用・貨物用エレベーター更新 ・新館エスカレーター更新 ・本館照明器具、誘導灯器具のLED化 ・GHPエアコン撤去B1F-6F 						

事業者名及び事業所名	ミツマ化成株式会社 川越工場					
事業所所在地	川越市芳野台一丁目103番地8及び9					
産業分類名	プラスチック製品製造業					
事業活動の概要	事業内容	事業内容：豆腐容器の製造 主要設備：大型真空成形機、PPシート押出製造装置				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	【第三計画期間】基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を15%とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する。)				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	1,973	2,015				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	4,335	4,335	4,335	4,335	4,335	21,675
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	3,855	3,936				7,791
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> 成形機1台を高効率ヒーター搭載機に更新 押出機の断熱により消費電力を削減 成形機に待機時間を監視するソフトを導入 押出機の真空ポンプをインバーター化 排出量取引について、必要に応じた実施を予定 照明のLED化 成形機の真空ポンプ(10台)を順次インバーター化 デマンド監視装置を設置した。 成形機に待機時間を監視するソフトを導入した。(未実施装置) 						

事業者名及び事業所名	光村印刷株式会社 川越工場					
事業所所在地	川越市南台一丁目1番地1					
産業分類名	印刷・同関連業					
事業活動の概要	事業内容	一般印刷物、金属加工製品				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量を基準とし、削減計画期間の平均削減率を20%以上とします。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	4,529	4,449				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	25,181	25,181	25,181	25,181	25,181	125,905
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	9,008	8,816				17,824
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽機器の省力機器への交換大日程作成 ・原単位の良好な機体を主稼働とする台数制御による圧縮空気原単位(kWh/m³)の改善 ・機体毎の圧縮空気原単位の把握(kWh/m³) ・空気比の改善 ・エネルギー管理標準の改訂 ・エネルギー管理全社組織の発足(改正省エネ法への対応に同調) 						

事業者名及び事業所名	株式会社武蔵野 埼玉麺工場					
事業所所在地	川越市芳野台一丁目103番地58					
産業分類名	食料品製造業					
事業活動の概要	事業内容	製造品：生麺・調理麺				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を15%以上とする。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	4,081	4,061				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	10,475	10,475	10,475	10,475	10,475	52,375
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	7,979	7,939				15,918
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野（生産事業本部・工場）エコアクション2.1取得 ・武蔵野（生産事業本部・工場）エコアクション会議（2回/年）を開催 ・エネルギーの毎月の使用量および推移表を作成、要因分析実施 ・事務用機器の節電 ・空調機設定温度の遵守 ・排出量取引制度の活用 ・照明設備の節電 ・設備点検の実施 ・工場内冷凍機の更新 ・茹で麺槽の保温工事の実施 ・本社指示により電気・ガス使用量の日々確認による削減対策早期実施 						

事業者名及び事業所	雪印メグミルク株式会社 川越工場					
事業所所在地	川越市大字的場1535番地					
産業分類名	食料品製造業					
事業活動の概要	事業内容	ヨーグルト、デザート（プリン、ゼリー類）の製造販売 従業員 120名				
削減目標	削減計画期間	2	年度から	6	年度	
	エネルギー起源CO ₂	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上の削減を目指す。				
	その他ガス					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	削減期間合計
原油換算エネルギー使用量(kl)	2,560	2,635				
基準排出量(t-CO ₂ /年)	5,576	5,576	5,576	5,576	5,576	27,880
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	5,002	5,159				10,161
温室効果ガスの排出抑制等に関する主な措置の計画及び実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂、事務所照明のLED化による電力使用量削減 ・ 貫流ボイラー蒸気圧設定変更による蒸気使用量削減 ・ クレート洗浄機に使用している洗浄水の温度設定を10℃下げて運用し、ガス使用量を削減 ・ 高効率貫流ボイラー導入によるガス使用量削減 ・ 旧冷媒(R22)使用の冷凍機の更新を実施し、電力量削減に取り組む ・ 空気圧縮機台数制御装置による適正運転 ・ 氷蓄熱装置冷凍機運転時間適正化 ・ 工場排水の熱回収により貫流ボイラー給水温度を上昇させ、ガス使用量を削減する ・ 製造用温水ユニット保温による都市ガス使用量削減 ・ 太陽光パネルを設置し発電電力を使用する ・ 貫流ボイラーのバーナーを高効率仕様のバーナーに変更し、燃料使用量を削減する ・ 蒸気配管保温による省エネ ・ 排水散水ろ床ポンプインバーター化 ・ 第一キュービクル更新 ・ 蓄熱設備送水ポンプ設定変更 ・ 食堂、事務所照明のLED化による電力使用量削減 ・ 貫流ボイラー設定見直しによる発停回数の削減 						